

テーマ①誰もひとりにさせないまち 「生活サポートビジネス企画」

移動が困難な場所でも、ストレスなく生活できる、高齢者が外出したくなるモビリティサービスに係るビジネス企画を募集します。

背景と課題

横須賀の地理条件

港の適地として発展した横須賀市中心部や、三浦半島は海辺まで山や丘が迫り、その間は谷となるため平地が少ない地形です。

住宅と生活環境

軍港として栄えた横須賀市中心部は、谷あいから山や丘の上まで住宅が建てられました。その後、郊外でも山や丘を造成し、宅地開発が行われました。そのため自動車の入れない狭い路地や階段、坂道により交通の便が悪い生活環境が多くあります。

高齢化の課題

横須賀市の65歳以上の老年人口は、神奈川県内でも高い30.5%となっており、三浦市など三浦半島の自治体はさらに高くなっています。高齢者の運転による事故のリスクが増しており、歩行が困難、交通の便がないなどのため、外出や移動が困難な交通弱者、買い物弱者が増えています。外出ができない生活は不便なうえ、健康を害する危険性もあります。また、不便なため、誰も住まない空き家も増えています。

【参考資料】

・谷戸の状況と谷戸再生への取り組み(平成30年6月)
<http://www.yrp.co.jp/sumamobi/report/20180614/doc2-2-1.pdf>
・谷戸地域空き家等実態調査報告書(平成23年6月)
<http://www.yrp.co.jp/sumamobi/report/20180614/doc2-2-2.pdf>

ビジネス化のヒント

移動が困難な場所でも、ストレスなく生活できる、高齢者が外出したくなるモビリティサービスに係るビジネス企画を募集します。

横須賀市の生活や交通の課題を解決するビジネスは、高齢化が進む日本社会に先行し、世界的なモデルとなるものとして期待します。

◆歩行の支援や、移動手段の高度化

ラスト&ファーストワンマイルの移動を支援し、気軽な外出を可能とする車いす、電動カート等のスマートな利用が求められています。

◆歩行者の安全確保

歩道がないような狭い路地でも子供をはじめとした歩行者が安心して通行できるよう、安全性を確保する乗り物・道路が求められています。

◆移動弱者のための運搬手段や配送サービス

移動が困難な状態や環境にある人が、わざわざ買い物に行かなくても荷物を届けてくれる配送サービスの高度化が求められています。

◆移動弱者のための代行サービスや移動するサービス

代行サービスや、移動しなくとも密接にコミュニケーションがとれるサービスなど、ICTを活用して生活を便利にすることが求められています。